



令和四年度 秋麗フェスタ〈芸と術についての講演会〉

異なるジャンル・世代の 孤高の達人達が語る その世界



合気道
た だ ひろし
多田宏



噺家
はやし や しょう じゃく
林家正雀



クリエイティブ
プロデューサー
アートディレクター
た むら び ろう
田村吾郎

令和4年**9月11日**(日)

12:00 開場 12:30 開演(終演16:30 予定)

武蔵野市民文化会館 大ホール(住所:武蔵野市中町3-9-11)

入場
無料

(共 催) 武蔵野市民芸術文化協会、武蔵野市教育委員会

(制 作) 武蔵野市民芸術文化協会企画局

(問合せ) 武蔵野市民芸術文化協会事務局(武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課内)

[電話] 0422-60-1856(火・金曜日9:00~16:00)

* 新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。ご来場の際は、マスク着用、指先の消毒、検温、問診表のご記入、ソーシャルディスタンスを保つためのご理解とご協力をお願い致します。

古来より「芸」は故人の残した法則～基礎～によって裏づけられた表現力といい、「術」は修行の成果で得た能力といわれています。この度はそれぞれの道で活躍されている三人の達人に芸、術についてお話いただきます。

講演 講師紹介

(出演順)



田村吾郎

■プロフィール

東京芸術大学美術学部デザイン科卒業、同大学院美術研究科博士後期課程修了、博士(美術)。アート系事業会社 RamAir.LLC / 代表、映像デバイスメーカー WVTL(株) / 顧問、レーシングチーム(株)トムス / 経営戦略室長 兼 デザインセンター長、東京工科大学デザイン学部 / 准教授、総務省 / 地域活性化アドバイザー、他。

■今回の主旨

空間表現、教育福祉文化、ブランディング、デザイン、技術学術研究、スポーツエンタメ、という6つの領域(狭義の芸)を横断的に掛け合わせ、今までにない新たな価値の創造を目指す試み(広義の芸)をご紹介します。



多田 宏

■プロフィール

早稲田大学法学部卒業、卒業後日本文化の伝統と合気道に於ける気の錬磨の研究を専門に行う。イタリア・スイスを中心に「気の錬磨」を主とした合気道を普及。令和元年12月イタリア共和国大統領より「イタリアの星・騎士勲章」を授与される。

現在、公益財団法人合気会本部師範、合気会九段、国際合気道連盟委員、他。

合気道多田塾を主宰。吉祥寺の月窓寺道場で、「動く禅としての合気道」を稽古。武蔵野市在住。

■今回の主旨

江戸時代まで、芸術とは剣術のことを指していました。日本伝統芸術と呼吸法・瞑想法の関わり・心と体の使い方についてお話します。



林家正雀

■プロフィール

昭和49年2月 故林家彦六(八代目正蔵)に入門。前座名は繁蔵。昭和53年9月に二ツ目に進み正雀に改める。昭和58年6月真打に昇進する。

師匠彦六の芸を継ぎ、創作物にも取り組むことを目標としている。

■今回の主旨

落語はもともと落し咄と云って、「落ち(サゲ)」が大事なので、作った方はそこに苦労なさったと思われます。又、お客様から三つ題を貰って作る「三題咄」も、落ちが肝心なので、やはり同様だったはずです。今回は落ちの優れた小咄と三題咄を中心にお話しさせていただきます。

司 会



花柳美輝風

武蔵野市観光機構親善大使

東京藝術大学音楽学部邦楽科日本舞踊専攻 同大学院卒 音楽博士、同非常勤講師